

のうえつ たかおか ふくおか
能越自動車道(高岡 I C ~ 福岡 I C)建設事業

受賞機関 国土交通省北陸地方整備局 富山工事事務所

能越自動車道の概要

能越自動車道は石川県輪島市を起点に富山県砺波市に至る延長約100kmの一般国道の自動車専用道路で、昭和62年に策定された14,000km高規格幹線道路網計画に組み込まれた高規格幹線道路である。

また、能越自動車道は小矢部砺波 J C T で既存の北陸自動車道、東海北陸自動車道と連結し、高速交通サービスを富山県の西部地域さらには能登地域に提供する路線であり、高速交通体系の強化によって、これら地域と三大都市圏との時間距離を飛躍的に短縮し、もって豊富な水産資源や観光資源の活用を促すなど産業経済発展への寄与が大いに期待される路線である。



全 景

整備の経緯

当事務所では富山県内分、すなわち能越自動車道を構成する 石川県境を跨ぐ七尾氷見道路28.1km富山県内区間、氷見高岡道路11.2km、高岡砺波道路18.2km整備を担当している。

整備は終点側高岡砺波道路18.2kmの小矢部砺波 J C T から進めてきており、平成元年度に一般道路事業としてスタート、翌平成2年度に富山県道路公社の有料道路事業を加え、平成8年3月に福岡 I C ~ 小矢部砺波 J C T 間6.9kmの4車線供用を実現している。



福岡パーキングエリア



高岡IC~福岡IC間(高岡方向を望む)

その後順次整備を進め、平成12年7月19日に高岡 I C ~ 福岡 I C 間6.8kmを4車線で延伸供用したものである。

この供用によって開通区間が13.7kmに達し、人口約18万人を擁する富山県下第二の都市高岡市初の I C (高岡 I C) を実現するなど、大きな整備効果を発揮しているところである。

高岡 I C ~ 福岡 I C 間の特徴

当該区間については、平成7年度に工事に着手したもので、約170万 m²の大規模土工(盛土)を専用の土取場を設けて、沿線住民等の全面協力のもと県道等一般道路を使った土運搬で実現したことが工事上の大きな特徴となっている。

また、この区間には初めてのパーキングエリアとなる福岡パーキングエリアを整備したほか、橋長715mの宝来高架橋をはじめ、21の橋梁を整備しており、富山県西部地区特有の集落形態「散居村」を縫うその姿は背後の立山連峰ともマッチして優美な景観を醸し出している。

整備の現況と今後の予定

現在、さらなる延伸供用を目指して高岡北 I C (仮称) ~ 高岡 I C 間4.5kmの工事が佳境に入っているほか、次の整備区間となる氷見高岡道路11.2kmについても工事に着手したところである。

能越自動車道については能登半島から紀伊半島まで延長約500kmにおよぶ国土横断軸の一翼を担う重要な路線であり、その整備効果に対する各方面からの期待も大きく、今後とも能登半島に向かって整備に邁進する所存である。